

2020年4月15日
マックスバリュ東海株式会社

「三重県産養殖マダイ」の消費機会拡大に向け 三重県の「おいしい」を発信

マックスバリュ東海株式会社（本社：静岡県浜松市東区/代表取締役社長：神尾 啓治）は、4月17日から4月19日の期間、三重県内のマックスバリュ32店舗で伊勢まだいを販売いたしますのでご案内申し上げます。

今回の取組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく需要が落ち込んでいる三重県産養殖マダイの消費機会拡大を図り、生産者の応援とともに地域の活力を高めることを目的としています。

また、4月18日の三重県民の日に合わせて、同期間に「三重うまいもの市」を三重県内の35店舗で開催いたします。三重県が地産地消を推進する日として定めた毎月第3日曜日とその前日の土曜日の『みえ地物一番の日』の趣旨に賛同し、当社店舗で三重県産の食材・商品をクローズアップし、販売する企画です。当社では、この取り組みを2004年からスタートし、毎月「三重県の良さ」を再認識していただく機会として、継続的に実施しています。

今回の企画では、「伊勢まだい」のお刺身、切身はもちろん、三重県四日市市産の「有竹さんちのトマト」「伊勢うまし豚」「伊勢赤どり」「亀山みそ焼きうどん」「伊勢うどん」など、三重県のご当地産品を多数品揃えいたします。

三重県民の日とは...

三重県には、江戸時代9つの藩領のほか、天領、神領がありました。1871年の廃藩置県により、安濃津県と度会県となり、1876年4月18日に、この2つの県が合併して、現在の三重県が誕生しました。そして、1976年、県政100周年を記念して、4月18日が「三重県民の日」と定められました。

当社では、毎年三重県民の日に合わせ、地産地消をテーマにした企画を実施。三重県産の優れた商品を数多く紹介してきました。今後も継続して、三重県民の皆様へ、県産品のおいしさを再認識していただく機会をご提供できればと考えております。

※マックスバリュ阿倉川店・加佐登店・若松店・亀山店・香良洲店・白山店・港町店・学園前店・大石店・ミセススマート菰野店・粥見店は「三重うまいもの市」は実施いたしません。また、伊勢まだいの販売はいたしません。

※マックスバリュ生桑店、郷津店、鵜方店は「三重うまいもの市」は実施しますが、伊勢まだいの販売はいたしません。

想いを形に、「おいしい」でつながる。



マックスバリュ東海株式会社

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1295番地1
URL <https://www.mv-tokai.co.jp>

【お問い合わせ先】

経営企画部 広報・IRグループ

TEL 053-581-7099